

第 4 回 結城市学校適正配置等検討委員会議事録

結城市教育委員会

第4回 結城市学校適正配置等検討委員会議事録（要旨）

- 日 時 令和3年7月13日（火曜日）午後1時30分から午後4時30分
- 場 所 結城市役所 大会議室2
- 出席委員 委員長 小島 睦 副委員長 瀧田 昌孝 委員 落合 由美子
委員 上田 哲弘 委員 齋藤 昌徳 委員 町田 裕行
委員 齋藤 紀子 委員 大木 作次 委員 佐藤 仁
- 教育委員会事務局
教育部長 飯田 和美 学校教育課長 大木 博
指導課長 久下 英彦 学校再編係長 和泉田 真
主幹 伊佐岡 真美

●次第

- 1 開会
- 2 委員長あいさつ
- 3 議事
 - (1) 中学校区ごとの適正配置（案）について
 - (2) 学校再編等に係る費用について
 - (3) アンケート調査について
 - (4) その他
- 4 その他
- 5 閉会

○要旨

1 開会

2 委員長あいさつ

- ・今回は、中学校区ごとの適正配置（案）、学校再編等に係る費用、アンケート調査について審議することになりますが、中間報告の決定のための重要な議題でございますので、皆様のご協力を得ながら議事の方を進行していきたいのでよろしくお願いします。

3 議事

(1) 中学校区ごとの適正配置（案）について

【事務局説明】

- ・結城中学校区、結城東中学校区の学区再編の検討案の説明
- ・案1は、四ツ京地区の全部を結城小に編入する場合の提案
- ・令和4年度から9年度までの入学予定者の推移等の資料を参考に、結城小の学級数の維持の必要性、市内3中学校の生徒数の平準化など提案理由を説明
- ・案2は、四ツ京地区の一部である都市計画道路3・4・20号の東側を結城小に編入する場合の提案
- ・案2を採用とした場合、四ツ京地区を東西に分断することになり、自治会や子ども会との協議が必要になること、児童数は、結城小と結城西小とのバランスが図れることなどを説明

【意見】

- ・地区を2つの学区に分けるのは、自治会の関連もあって難しいのではないかと。
- ・案1の場合、令和8年度、9年度の結城西小の入学予定者数では2学級となっているが、実質的に1学級になってしまう可能性が高いのではないかと。
- ・中学校の生徒数の平準化を図るのであれば、中学校から当該地区を東中に編入してもよいのではないかと。
- ・小学校は現行のままでよいが、中学校は部活のこともあり、ある程度の人数はいた方がよい。
- ・東中の生徒数が減少することは目に見えているので、案1を採用した方がよい。
- ・かつて結城小の児童数が増えて結城西小ができた経緯があるので、もし案1を採用して結城西小が1クラスになったときは、結城小に統合してもよいのでは。
- ・この案が地元からの要望でなければ、意向調査やアンケート調査を実施してもよい。

【事務局説明】

- ・絹川小、江川北小、江川南小、山川小及び上山川小を統合し、結城南中との小中一貫教育に適した位置に新設校を設置する案を提案
- ・いずれの小学校も国や県が示すクラス替えの可能な学級数を満たしていないこと、今後小中一貫教育を推進していくこと、学校施設が老朽化しており建て替えが必要なことなど提案理由を説明
- ・懸案や課題として、スクールバスの必要性や財政面での調整や協議が必要になることを

説明

【意見】

- ・手遅れになる前に早く進めてほしい。
- ・校舎の再利用も考慮し、この先のさらなる児童数の減少も見据えて検討すべき。
- ・経費節減のため、校舎の利活用や南中敷地内建設も視野に入れて検討すべき。
- ・案については全会一致で賛成

【事務局説明】

- ・結城東中学校区、結城南中学校区の学区再編の検討案について説明
- ・小森、久保田、宮崎、慶福地区を結城小学校区に編入する案を提案
- ・当該地区は、現状、結城東中が指定学区になっているため、統合校の新設に合わせて小学校の指定学区を結城小に変更することで、交友関係の面でもスムーズな接続が図れると思われる。
- ・中学校の進学希望先は、児童・保護者の意思に配慮し、学区外申請を柔軟に認めることを説明

【意見】

- ・小学校の時から新設校と結城小とに分かれるのは、地域の結びつきの面でも難しいと思われる。
- ・新設校と結城南中との小中一貫教育を推進するとなると、小学校は一本化しておいた方が、カリキュラムの面でよい。
- ・現在、絹川小の卒業生のうち半数近くは、結城東中を希望している。通学距離の面が影響していると思うが、兄弟姉妹との関係もあるのでアンケートをとってもよいのでは。

【事務局説明】

- ・結城中学校区の適正規模化の検討案について説明
- ・城南小、城西小を、校地を城南小として統合する案を提案
- ・城西小は、全学年単学級の小規模校で今後も児童数の増加は見込めないこと、城南小と城西小は、距離的に近く隣接しているため統合がしやすいこと、城南小も将来的には児童数が減少することなど提案理由を説明

【意見】

- ・統合することには賛成だが、城南小は学校用地も狭く拡張は難しいので、児童数の推移を勘案しベストなタイミングで統合すべき。
- ・城西小は城南小から分かれた経緯があるので、統合案については、保護者からも理解が得られるのではないかと。
- ・統合した場合、西部地区は通学距離が長くなるので、スクールバスの導入を検討しない場合は案に賛成できない。

(2) 学校再編等に係る費用について

【事務局説明】

- ・新設校の建設にかかる概算費用、既存校の大規模改修等にかかる概算費用、スクールバ

スの運行にかかる概算費用を説明

【意見】

- ・国の負担金や補助金等の活用を積極的に図ること。
- ・経費節減に努めること。

(3) アンケート調査について

【事務局説明】

- ・第1回目のアンケート調査では、市が適正配置の検討を始めていることをお知らせすることが実施の目的になる。8月ごろに、小中学校保護者、幼稚園・保育園等の保護者を対象に実施し、実施方法は、マチコミメール等で送受信や紙媒体の配付回収により行うことを説明
- ・第1回アンケート調査の内容としては、1学級当たりの人数や学年当たりの学級数、どんな学校に通わせたいかなど抽象的な内容でアンケートを実施したい。また、自由記載の欄で保護者の意見を広く収集したいと考えている。
- ・第2回目のアンケート調査では、中学校区ごとの学校適正配置等（案）の決定に至らなかった内容について、保護者への意向調査という形で実施したい。

【意見】

- ・アンケート調査に当たっては、市の方向性や適正化の内容について明記した方がよい。
- ・児童・生徒数の減少についての危機感を共有できるような内容とした方がよい。

4 その他

【事務局説明】

- ・アンケートの実施やスケジュール等について委員にお知らせして順次進める。
- ・第3回の議事録の要約版について、市ホームページへの掲載を了承してほしい。

5 閉会